

# 「深部組織ボディワークの講座と個人セッション」のお知らせ

深部組織ボディワークとは、深層筋、筋膜、腱、靭帯、軟骨などに働きかけるボディワークのことです。目的は、深部組織に働きかけることにより、慢性的な筋緊張、可動域の制限、身体構造の歪みを改善することです。施術者は指、手、肘を使い、全身の様々な深さにある深部組織に圧力とエネルギーを加えていきます。その結果、慢性的緊張によって固形化していた深部組織は水気を含んだ柔らかな組織に戻ります。からだ本来の機能性や柔軟性が取り戻され、からだの構造は新しく調和のとれたものに再統合されるのです。

私は、20年にわたり、多くの方々に施術をさせて頂きました。職業では、オリンピック選手、バレエダンサー、俳優、舞台女優、声優、ナレーター、オペラ歌手、ヴォーカリスト、ピアニスト、ヴァイオリニスト、画家、彫刻家、イラストレーター、ヘアメイク・アーティスト、武道家、ヨガ、ヒーラー、カウンセラー、コーチ、臨床心理士、精神科医、歯科医、弁護士、会社役員、雑誌編集長、ライター、コンサルタント、介護ヘルパー、主婦などさまざまな方々に、年齢では2歳児から80代の方まで施術をさせて頂きました。この経験から分かったことは、老若男女、職業を問わず、どなたにも向いているということです。今回は、自分自身で行うことのできる「呼吸を深めるための呼吸筋に働きかけるセルフボディワーク講座」とともに、「個人セッション」を越後で提供させて頂きます。「個人セッション」では、ヨーガをされている方を対象に、以下の3つのボディワークを提供します。「呼吸を深めるための呼吸筋ワーク」「胸を開くための胸郭ワーク」「股関節の可動域を広げる骨盤帯ワーク」です。もちろん、受け手の希望により他の箇所に働きかけることも可能です。

今回は、深部組織ボディワークのご案内ですが、心理的に悩みを抱えている方には、心理療法でのサポートも同じ個人セッションの枠組みで提供させて頂きます。お気軽にご相談ください。なお、個人セッションの詳細内容につきましては、リズムセラピー研究所サイト (<http://www.rhythmtherapy.jp/individual.html>) をご参照ください。

## ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ セルフボディワーク講座 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 個人セッションの詳細 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

日 程：2013年8月18日(日) 11時30分～14時30分

講 師：賛川治樹 (にえかわはるき)

会 場：越後奥寂庵 (<http://innersilence.jp/index.html>)  
住所 上越市大島区牛ヶ鼻 253-1 (送迎に関しては相談に応じます。)

内 容：「呼吸を深めるための呼吸筋に働きかける自分のできるボディワーク」  
斜角筋、胸鎖乳突筋、大胸筋、広背筋、横隔膜、腸腰筋など、呼吸に関係する筋肉の働きを解剖図を用いて説明し、それぞれに働きかける手技をお教えいたします。

料 金：3時間6,000円(税込み)

支払方法：当日、現金にてお支払いください。

日 程：2013年8月16日(金)～8月18日(日)

施 術 者：賛川治樹 (にえかわはるき)

会 場：越後奥寂庵 (<http://innersilence.jp/index.html>)  
住所 上越市大島区牛ヶ鼻 253-1 (送迎に関しては相談に応じます。)  
※田舎屋の可能性もあり。別日程で東京でのセッションも可能です。

コ ー ス：「呼吸を深めるための呼吸筋ワーク」「胸を開くための胸郭ワーク」  
「股関節の可動域を広げる骨盤帯ワーク」

料 金：1時間10,500円・1時間30分15,750円(税込み)  
2時間21,000円(税込み)

※小学生以下のお子さんは、半額です。

支払方法：当日、現金にてお支払いください。

◎問い合わせ先、申込み先：越後奥寂庵(賛川治樹) MAIL: [echigo@innersilence.jp](mailto:echigo@innersilence.jp) FAX: 050-3488-7614

◎お申込み方法：「お名前」「連絡先」「携帯電話番号」「何処でお知りになったか」をお書きの上、メール、もしくはFAXにて、越後奥寂庵までお送りください。  
※完全予約性となります。越後リトリートに合わせてセッションをご希望される方は、8月14日までにご予約ください。

## 講師略歴 賛川治樹 (にえかわはるき)

リズムセラピー研究所所長、BIPS ディレクター & 国内トレーナー、EABP (European Association for Body Psychotherapy) 認定トレーナー、バイオシンセシス認定ボディサイコセラピスト、シン・インテグレーション上級施術者、セロトニン道場師範、場の研究所研究員、越後奥寂庵庵主、ヤマハ株式会社音楽と健康プロジェクト・元アドバイザー。

1992年アイダ・ロルフに直接学んだマーク・カフェル博士に師事し、1年間南アルプス山間集落でボディワークの研鑽を積み、1993年から現在まで、延べ2万人以上の方に深部組織ボディワークを行う。1993年より5年間のバイオシンセシストレーニングに参加し、1998年に資格を得る。その後、ボディサイコセラピーの個人セッションを行うとともに、ワークショップを主催する。2006年よりBIPS国内トレーナーとして、セラピスト養成を行い、同時期にボディサイコセラピーに音楽を取り入れたリズムセラピー研究所を設立。九州大学、セロトニン道場、引きこもり親の会、韓国政府青少年委員会主催国際シンポジウム、不登校のサポート校、日本産業カウンセラー協会東京支部、リーダーシップ世界大会、コーチングフェスタ、重度身心障がい者授産施設、自治体の介護予防教室、乳幼児突然死症候群国際会議、ヤマハ音楽振興会などで講演と演習を提供している。

